

新QC七つ道具セミナー！ 図形化思考と言語データの整理で業務をレベルアップ！

2020 年度セミナーご案内

日科技連
日本科学技術連盟



参加のおすすめ

管理者・スタッフの業務レベルアップのために！

ものづくりの現場はもちろん、企画や管理、営業部門において、問題を解決するにあたって、情報の多くは言葉で表現される“言語データ”が扱われます。言語データから有益な情報を抽出し、新しい発想を生み出してくれるツールが「新QC七つ道具（N7）」です。

なぜN7を用いると新しい発想を生み出すことができるのか、その秘密は「図形化思考」にあります。

①「見る」ほうが伝わる

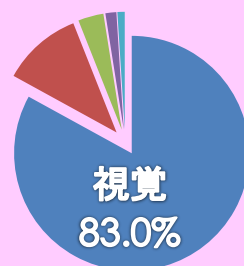
人間の脳が外部から情報を受け取るとき、その割合は、視覚が83%、聴覚が11%を占めると言われています。情報を視覚化（＝図形化）することで、会話のみの場合より、相手にとって分かりやすく表現し、確実に伝えることができます。

②思考の経緯が残る

思考や議論の経緯が図表として残るので、ムダな脱線や手戻りを防ぎ、効率よく考えられます。また、その経緯をたどることで、考えの抜け漏れを防ぎ、新しい発想を導けます。

③意図や情報を共有する

図形化することにより、考えや情報の焦点・議論の進捗が明確になり、会議やミーティングの場で、認識を共有しながら有効に議論を進めることができます。



人が五感から
情報を受け取る割合

ぜひ本コースにご参加いただき、業務のレベルアップにお役立てください！

主催：一般財団法人 日本科学技術連盟
<http://www.juse.or.jp/>

今の日本企業には「考える力」が欠けている、と言われています。現在のような、変化のスピードが速く、また様々な競合と争いながら多様なニーズに対応する必要があるような環境では、複雑な状況を正しく把握し、素早く適切な対応を取る必要があります。その時に必須となるのが「考える力」です。

しかし、現在、かつての経済成長を背景に「考える」訓練を受けていない世代が企業のミドル層を占めるようになっており、時代とのギャップをあらわにしていると言われています。

「目標を与えられる時代」から「目標を創る時代」に変わった今だからこそ、人材の「考える力」を根本から鍛えていく必要があるのです。

	過 去	現 在
ニーズ	選択肢から選ぶ	多様化・個別化
情報	企業発信	ユーザー発信
目標	与えられるもの	自分で創るもの
変化	少ない・現状維持	大きい・早い
競争	同業他社	国際化・異業種競合

状況変化に対応できる「考える力」が必要！

図形化思考で

現場とマネージャーの“考える力”を養成する

図形化思考を活用し、
マネジメントや問題解決をレベルアップする

こんなシーンで活躍します

商品企画

他社製品との比較検討をしたい
コメントから有効な情報を得たい

マネジメント

業務管理をうまく進めたい。ポイント
を押さえて部下を指導したい。

会 議

会議を手早く円滑に進めたい。
ブレインストーミングの結果を分かり
やすくまとめたい

プロジェクト

進捗管理をうまく進めたい
障害を予測・回避したい

問題解決

問題の要因を追求したい
対策のアイデアを広げたい

営 業

お客様の要望を集約したい。ベテラン
のノウハウを若手に伝承したい

プレゼン

図表でポイントを的確に表現したい
プレゼンにインパクトがほしい

“考える力”を養成する「図形化思考」

「図形化思考」を活用するということは、必然的に「論理的な視点や思考」＝「考える力」を訓練することになります。これにより、状況を的確に把握し、適切な判断を下す能力が向上します。



新QC七つ道具(N7)セミナー カリキュラム

第1日 9:20～18:00	午前	新QC七つ道具概論、『新QC七つ道具』と言語データ、親和図法 講義
	午後	親和図法 演習と発表、連関図法 講義、演習と発表
第2日 9:30～17:30	午前	連関図法 演習と発表、系統図法講義、演習と発表
	午後	マトリックス図法 講義と個人演習、マトリックス・データ解析法 講義と演習
第3日 9:30～17:00	午前	アロー・ダイヤグラム法 講義と演習、PDPC法 講義と演習
	午後	PDPC法 講義と演習、N7周辺手法の紹介、問題解決N7事例、総合質疑

回数	日程	会場
第1回	6月10日(水)～12日(金)	大阪
第2回	9月1日(火)～3日(木)	東京

会場所在地
大阪会場 (日科技連 大阪事務所) 大阪市北区堂島 2-4-27 新藤田ビル
東京会場 (日科技連 東高円寺ビル) 東京都杉並区高円寺南 1-2-1

受講生の声 (2019 年度セミナーアンケートより抜粋)

- ・グループワークでより理解が深まりました。
- ・講義がとても分かり易く、資料も参考になりました。系統図は問題解決に役立つ手法なので、習得できて良かったと思っています。
- ・実際に経験した事例をもとにした講義だったのでわかりやすかった。
- ・Stat-Works などを使った演習で、実用性が増した。
- ・日程計画の見える化に使えると感じた。
- ・事前にゴールまでをシミュレーションしておくことで、突発的事項に対しても対処が早急に出来るようになったと感じた
- ・事例が多いので参考になります。
- ・N7の有益性がよく理解できた。



参加対象	(1)問題解決・課題達成能力を身につけたい管理者・スタッフの方々 (2)言語データによる整理・解析や新しい発想力を身につけたい・学びたい方々 (3)プロジェクトメンバーの経験知を集め、魅力的品質・サービスを企画したい方々 (4)適切な仮説・サクセスストーリーを構築したい人 (5)もやもやした課題、解決したい課題があり、どの様に取り組むか困っている方々 (6)業種・業務を問わず、問題解決に必要な新QC七つ道具を理解し身につけたい方々 (7)品質管理部門・生産技術部門を中心とした問題解決を必要とするスタッフの方々 (8)QCサークルや改善活動のリーダーとしてスキルアップを図りたい方々	参加費	一般 63,000 円 (税抜き)
			会員 54,000 円 (税抜き)

セミナー参加要領

【郵送または FAX でのお申込み】 下記参加申込書に必要事項をご記入のうえ、お送りください。

〒163-0704 東京都新宿区西新宿 2-7-1 小田急第一生命ビル 4F

一般財団法人 日本科学技術連盟 セミナー受付 宛

Tel 03-5990-5849 Fax 03-3344-3022 E-mail regist@juse.or.jp

【ホームページからのお申込み】 <http://www.juse.or.jp/> の各コースのページからお申込みください。

【E-Mail でのお申込み】 下記参加申込書に必要事項をご記入のうえ、上記アドレスにお送りください。

【セミナーに関するお問い合わせはこちらまで】

東京クラス (一財) 日本科学技術連盟 N7 担当

Tel 03-5378-1214 Fax 03-5378-9842 E-mail sqcsemi@juse.or.jp

大阪クラス (一財) 日本科学技術連盟 大阪事務所 N7 担当

Tel 06-6341-4627 Fax 06-6341-4615 E-mail juseosaka@juse.or.jp

2020 年度 セミナー参加申込書

FAX 03-3344-3022

第 回 新QC七つ道具セミナー (東京・大阪)

→ ※該当する回数を記入してください

※いずれかに○を付けてください

◆ 参 加 者

記入不要	参加者名 (ふりがな)	所属事業所・部課名

◆ 連絡担当者 (お申込受付後「開催ご通知」をお送りする方)

会社名		事業所		TEL	
部署・役職		担当者名		FAX	
所在地	〒				
	一般 63,000 円(税抜き) × 名 =		円	会員	
	賛助会員 54,000 円(税抜き) × 名 =		円	番号	

※ご記入下さいました企業・組織および個人情報、参加申込受付処理ならびに日科技連からのセミナー情報ご送付のために使用いたします。

※【キャンセルの取扱とお願い】 セミナーにお申込み後、ご本人の都合が悪くなった場合には、原則として代理の方のご参加をお願いします。また、止むを得ない事由により、お客様の都合でキャンセルされる場合には、セミナー受付担当まで FAX またはメールにて事前にご連絡をお願いします。その際、ご連絡の日にちにより、次のキャンセル料をご負担いただきます。

【キャンセル料】・セミナー開催日の 7 営業日前～2 営業日前のキャンセルー参加費の 20%、・セミナー開催日の 1 営業日前 17:00 までのキャンセルー参加費の 50%、・1 営業日前 17:00 以降または事前のご連絡がなかった場合ー参加費の 100%